



平成23年度 東京農工大学 後期公開講座

「獣医師の卒後再教育プログラム  
アドバンス イン 農工大！」

小動物臨床獣医師養成講座 中級II

痙攣を起こす疾患

の診断と治療

日 時:平成23年11月27日(日)  
午前10時~午後5時  
(昼休憩1時間)

場 所:東京農工大学農学部  
東京都府中市幸町3-5-8

参加費用:6,000円

定 員:40名

託児サービス:無料

I. 「痙攣の鑑別診断 -盲点とポイント」

付録:痙攣の緊急処置—あわてずさわがず冷静に!

東京農工大学農学部獣医分子病態治療学研究室 准教授 田中あかね

II. 「痙攣を起こす疾患の画像診断学」

東京農工大学獣医画像診断学研究室 講師 岸本海織

III. 「小動物臨床で使用できる抗痙攣薬の特徴と臨床エビデンス」

麻布大学獣医学部生理学第2研究室 准教授 折戸謙介

(お問合せ・お申し込み先)

「獣医師の卒後再教育プログラム アドバンス イン 農工大!」事務局

〒183-8509 東京都府中市幸町3-5-8 東京農工大学農学部 獣医分子病態治療学研究室

TEL: 042-367-5589 「学び直し」事務局 042-367-5925(分子病態治療学研究室) FAX:042-367-5916

mail: manabi@cc.tuat.ac.jp ホームページ: <http://www.tuat.ac.jp/~manabi/>

## 【内容】

犬や猫に痙攣が起きると、飼い主さんはパニック状態になり来院します。そのような時こそ獣医師はプロとして冷静沈着に対応し、速やかに痙攣をおさめる処置を施します。次にすべきことは、的確に原因を突き止め、基礎疾患の治療を開始することです。問診で飼い主さんに何を聞けばいいのか、どんな検査が必要か、それをどう判断するか。2次診療施設への紹介すべき時は？東京農工大学田中あかね准教授のレクチャーでは鑑別診断のポイントと陥りやすい盲点をテーマとしました。

また、診断において画像所見は非常に重要なものとなります。同じく農工大岸本海織講師が検査法・読影法などについて、実際の症例を紹介しながら解説していきます。

そして、小動物臨床で使用される抗痙攣薬の紹介とその薬効メカニズムや併用効果、人用の薬品がほとんど使用できない理由など、そのエビデンスについて延べ300症例の臨床薬理学的研究成果を元に麻布大学 折戸謙介准教授が詳細に解説いたします。

## 申 込 用 紙

平成23年11月27日 小動物臨床獣医師養成講座 中級Ⅱ:講義  
「痙攣を起こす疾患の診断と治療」 を申し込みます。

◎振込み用紙をご送付いたしますので、**ご住所**は必ずご記入下さい。

◎「学び直し」ご登録者は、B. 託児の有無と C. のご氏名 のみでも受け付けております。

A. 申し込み年月日：平成23年 月 日

B. 託児サービス 希望する ・ 希望しない (どちらかに○をお願いいたします。)

希望者には、後ほど詳細や託児問診表をご送付いたします。

C. 連絡先など

ふりがな

ご氏名 :

ご住所 :〒

希望連絡方法 : PCメール ・ 携帯メール ・ FAX ・ 郵便 ・ 電話

差し支えなければご記入下さい。

職業

出身校:

D. この講座を何で知りましたか？該当するものをお選び下さい。

大学公開講座ホームページ ・ 「学び直し」ホームページ ・ 東獣ジャーナル ・ 農工大同窓会誌 ・ CAP

獣医師情報サイト(インターズー・ファームプレス・緑書房・ペット動物獣医師セミナーイベント情報)

・ポスター ・メルマガ ・DM(「学び直し」事務局からの郵送の案内)

知人から聞いた ・その他( )

E. 今後、「獣医師の卒後再教育プログラム」から講座開催などの情報提供を希望されますか？

はい

いいえ

「獣医師の卒後再教育プログラム」に関するご意見・ご要望